

予算特別委員会資料

議案第1号

令和4年度北九州市一般会計予算（消防局所管分）について

1 歳入予算額	・・・P2
2 歳出予算額	・・・P2
参考 消防局主要事業の概要	・・・P3、4

消防局

令和4年度北九州市一般会計予算（消防局所管分）について

1 歳入予算額

（単位：千円）

款	項	目	節	本 年 度	前 年 度	比 較
17	1	11	1 消 防 使 用 料	928	855	73
	2	9	1 消 防 手 数 料	42,350	42,655	△ 305
18	1	3	1 消 防 費 負 担 金 (国)	5,605	6,707	△ 1,102
	2	11	1 消 防 費 補 助 金 (国)	184,308	0	184,308
	3	6	1 消 防 費 委 託 金 (国)	3,000	3,000	0
19	1	6	1 消 防 費 負 担 金 (県)	76	124	△ 48
	2	8	1 消 防 費 補 助 金 (県)	105,985	104,654	1,331
20	1	1	1 土 地 貸 付 収 入	2,454	2,425	29
			2 建 物 貸 付 収 入	5,879	4,491	1,388
22	1	4	1 市 民 太 陽 光 発 電 所 特別会計繰入金	2,000	8,000	△ 6,000
24	6	4	30 消 防 費 雑 入	131,331	129,756	1,575
25	1	11	1 消 防 債	1,047,900	1,605,400	△ 557,500
計				1,531,816	1,908,067	△ 376,251

2 歳出予算額

12款1項 消防費

（単位：千円）

目	本 年 度	本 年 度 の 財 源 内 訳				一 般 財 源	説 明		
		特 定 財 源			国 庫 支 出 金			地 方 債	そ の 他
		国 庫 支 出 金	地 方 債	そ の 他					
1 消 防 職 員 費	9,250,257 (△32,733)			37,466	9,212,791	消防関係職員給与費			
2 常 備 消 防 費	813,305 (△10,561)	48,881		88,288	676,136	○常備活動経費 220,092 ○予防行政経費 45,836 ○職員研修経費 35,558 ○その他経費 511,819			
3 非 常 備 消 防 費	417,308 (7,134)			59,188	358,120	消防団活動に要する経費			
4 消 防 施 設 費	1,686,701 (△496,376)	250,093	1,047,900		388,708	○常備消防施設整備費 1,528,379 ・常備車両購入経費等 1,225,999 ・その他経費 302,380 ○非常備消防施設整備費 158,322			
計	12,167,571 (△532,536)	298,974	1,047,900	184,942	10,635,755				

（ ）は前年度比

3 消防局主要事業の概要

(単位：千円)

区分	事務事業名	事業概要	予算額
地域の災害対応力の強化	① 消防団の充実強化 【3目 非常備消防費】 【4目 消防施設費】	老朽化した消防団施設の建替えを計画的に進めるとともに、消防団の装備の充実強化を図る。 また、消防団員の活動を積極的にPRするなど、消防団への入団促進を図る。 ◆八幡東消防団第4分団本部新築（山王一丁目）	101,852
	② 自主防災活動の推進 【2目 常備消防費】	「市民防災会」を対象に防災リーダー研修を実施するなど、地域の自主防災力向上のための支援・指導を行うとともに、地域で開催される消防訓練等を通じて、市民の主体的な自助・共助意識の醸成を図り、災害に強い安全・安心なまちづくりを推進する。	6,596
	③ 応急手当の普及啓発活動の推進 【2目 常備消防費】	市民による救命効果の向上を図るため、AEDの取扱いを含めた応急手当の普及啓発活動を推進する。また、デジタル機器等を導入し、市民が学びやすい環境を整備する。	2,287
高齢者等要配慮者の安全・安心対策の推進	④ いきいき安心訪問 【3目 非常備消防費】	介護職員初任者研修を修了した消防団員が中心となり、一人暮らし高齢者世帯等を訪問し、防火・防災や家庭内での事故防止の指導、簡単な身の回りのお世話をを行うとともに、福祉に関する相談を関係機関につなぐなど、高齢者の安全・安心の向上を図る。 ◆令和4年度の訪問予定数 2,256世帯	8,840
	⑤ 住宅防火対策の推進 【2目 常備消防費】	住宅火災による死者の発生を防ぐため、住宅用火災警報器の設置促進を行うとともに、設置後10年以上を経過した住宅用火災警報器の交換と定期的な点検・清掃についての啓発を強化するなど、高齢者世帯等を中心とした住宅防火対策を推進する。	852
	⑥ あんしん通報システム 【2目 常備消防費】	健康上特に注意が必要な一人暮らしの高齢者世帯等に緊急通報装置等を設置し、火災や救急事案に対し、迅速な対応を行うとともに、緊急通報に対する民間警備員の駆け付けや医療・福祉スタッフの24時間体制の相談対応により、高齢者等が住み慣れた地域で安心して生活できるよう支援する。	522
			※上記の他、 保健福祉局所管分 (介護保険特別会計) 53,000

区分	事務事業名	事業概要	予算額
あらゆる 防災力 の強化 に 対応 でき る	⑦ 新・林野火災対策の強化 【2目 常備消防費】	全国で頻発する大規模な林野火災や本市における林野火災の発生状況を踏まえ、その被害の軽減を図るため、林野火災に適した環境配慮型泡消火剤を整備する。	2,000
	⑧ 救急体制の充実強化 【2目 常備消防費】	高度な救急救命処置を提供できる体制を充実するため、計画的に救急救命士を養成する。 ◆令和4年度養成人数 6人	15,157
	⑨ 救急隊員等の新型コロナウイルス感染症対策 【2目 常備消防費】	救急活動等における新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を徹底するため、N95マスク、感染防止用ガウン等を整備し、安全で円滑な救急活動の事業継続を図る。	42,200
消防施設等の整備	⑩ 消防施設の長寿命化 【4目 消防施設費】	災害時の防災拠点となる消防施設の長寿命化を図るため、消防施設の改修を計画的に進める。 ◆訓練研修センター（実施設計・改修工事） ◆八幡西消防団第1分団本部（実施設計・改修工事） 他、13施設	（他に債務負担 35,000） 201,700
	⑪ 新・新型コロナウイルス感染症対策に係る非常用救急車の増台 【4目 消防施設費】	新型コロナウイルス感染症患者の搬送や救急事案が集中した場合に対応するため、非常用救急車を1台増台する。	40,000